

3. 大阪圏の住宅地

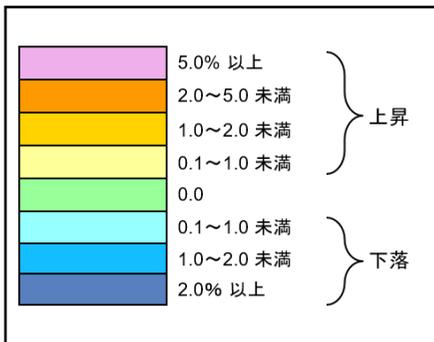
※（ ）は前年変動率

<p>京 都 府</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都市では、1.2%上昇(0.5%上昇)。全11区で上昇となった。全11区のうち、伏見区及び山科区で下落から上昇となり、他の全ての区で上昇が継続し、上昇率は拡大した。 ○ 京都市以外では、宇治市、向日市、長岡京市、大山崎町及び久御山町で上昇が継続し、久御山町以外の市町で上昇率は拡大した。また、城陽市では横ばいから上昇、亀岡市及び京田辺市では下落から上昇、八幡市で下落から横ばいとなり、南丹市、木津川市、井手町及び精華町などその他の市町では下落が継続しているが、下落率は縮小している。
<p>大 阪 府</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大阪市では、1.6%上昇(0.6%上昇)。全24区で上昇となった。全24区のうち、西淀川区及び住之江区で横ばいから上昇、大正区及び東住吉区で下落から上昇となった。他の区では上昇が継続し、西区以外の19区で上昇率は拡大した。 ○ 堺市では、1.8%上昇(1.2%上昇)。全7区で上昇となった。全7区のうち、南区で横ばいから上昇となり、他の区では上昇が継続し、上昇率は拡大した。 ○ 北大阪地域では、各沿線の駅徒歩圏内や、利便性に優れたマンション適地等の需要が堅調で箕面市などで上昇が継続している。豊能町及び能勢町で下落が継続しているものの、摂津市で横ばいから上昇となり、他の全ての市町で上昇が継続し、島本町以外の市では上昇率が拡大した。 ○ 東大阪及び南大阪地域では、枚方市、高石市及び大阪狭山市で上昇が継続し、上昇率は拡大した。泉大津市、守口市、八尾市、泉佐野市、寝屋川市、大東市、和泉市、門真市、藤井寺市、四條畷市及び交野市で下落から上昇、岸和田市及び富田林市で下落から横ばいとなり、その他の市町村では、下落が継続している。

<p>兵 庫 県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 神戸市では、1.2%上昇(0.2%上昇)。全9区のうち、須磨区で横ばいから上昇、北区及び西区で下落から上昇となり、長田区で下落が継続しているものの、下落率は縮小した。他の区では上昇が継続し、上昇率は拡大した。 ○ 神戸・阪神地域では、三田市及び猪名川町で下落が継続しているものの、下落率は縮小した。他の全ての市では上昇が継続し、上昇率は拡大した。
<p>奈 良 県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 奈良市では、0.8%上昇(0.2%上昇)。南北自由通路の開通や駅前広場の整備、区画整理事業により利便性が向上している大和西大寺駅徒歩圏及び利便性・住環境が良好な学園前駅徒歩圏では、需要は堅調となっている。 ○ 橿原市では、上昇が継続し、上昇率は拡大した。また、生駒市で横ばいから上昇、大和郡山市で下落から上昇、王寺町で下落から上昇となった。その他の市町村では、下落が継続している。

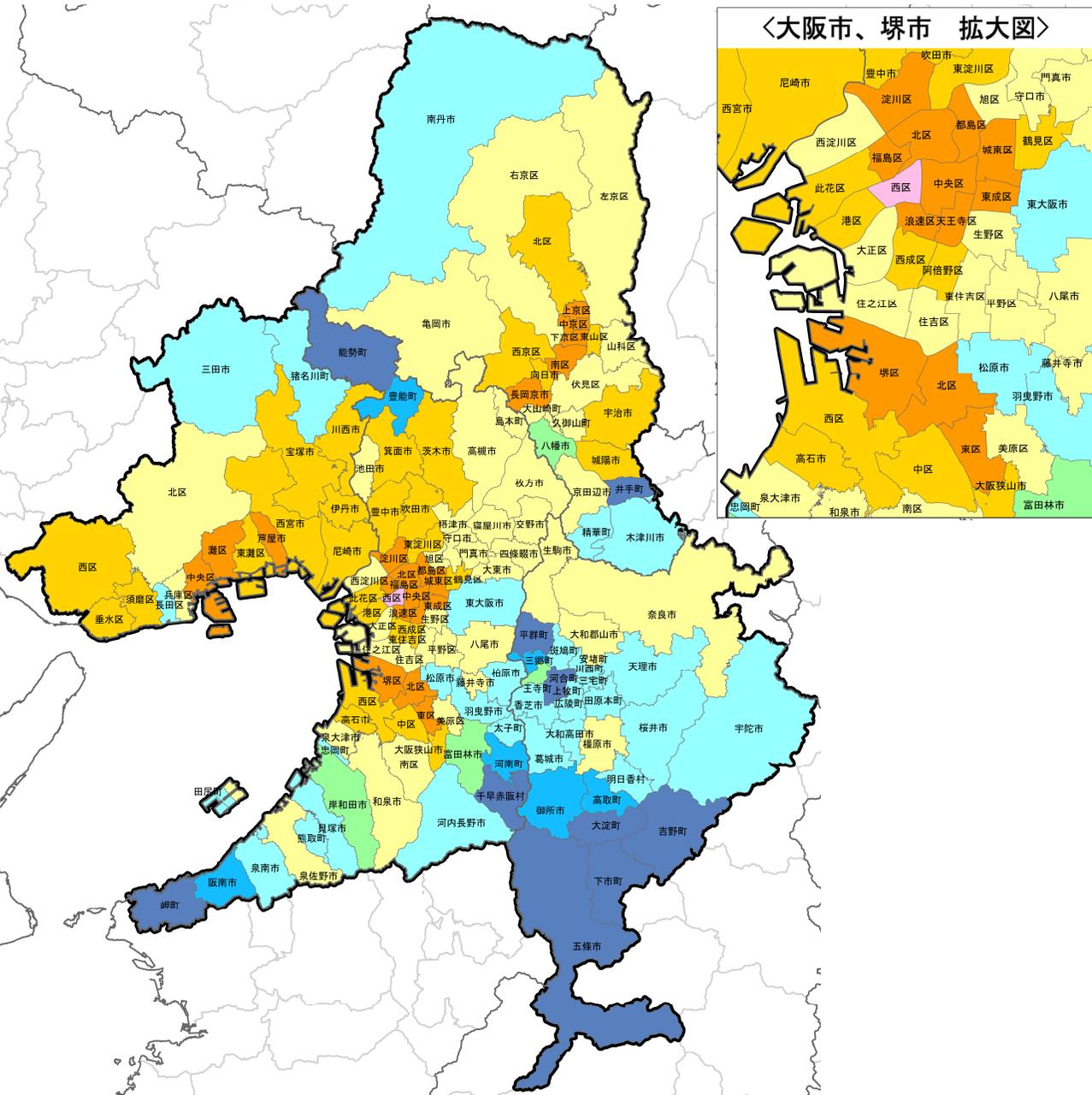
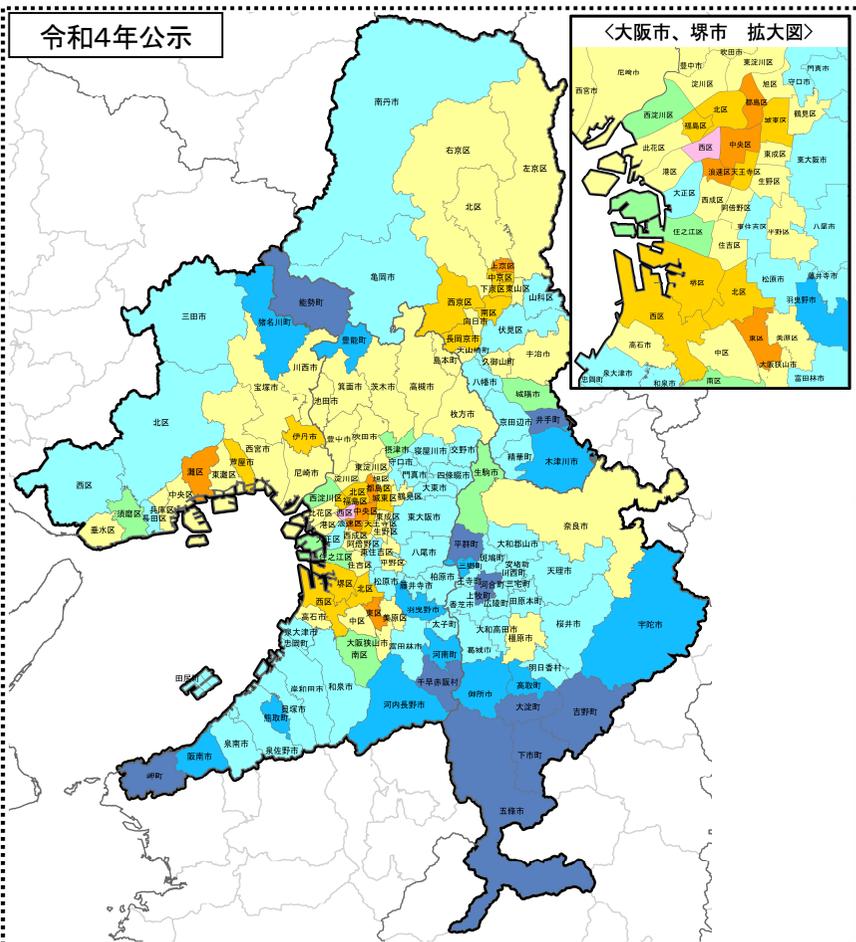
市区町村別の状況（大阪圏・住宅地）

令和5年公示



令和4年公示

〈大阪市、堺市 拡大図〉



〈大阪市、堺市 拡大図〉

